埼玉県バスケットボール戦評記入用紙

大会　（新人・春季・インターハイ・夏季）
試合　（決勝・準決勝・決勝リーグ・５－７位決定戦・代表決定戦・その他）
日時　６月 １７日 金曜日　第＿＿試合　時刻＿＿＿＿＿＿
記入者名　高島　美希

Aチーム	得点		得点	Bチーム
正智深谷 高校	４８	１５－１３ ２－１１ １４－２１ １７－１３	５８	埼玉栄 高校

戦評

１P　出だし正智深谷＃７のカットインからスタートする。その後、埼玉栄＃４のスリーポイントシュート、＃１２のカットインなどで開始５分埼玉栄が１１対４でリードする。しかし、正智深谷も＃７スチールからレイアップシュート、＃６のスリーポイントでゆずらない。１ピリオドは１５対１３の正智深谷リードで終了した。

２P　両チームとも守りあってなかなか得点が入らない。埼玉栄は＃７と交替した＃１４がジャンプシュートを決める。正智深谷は残５分３９秒でタイムアウトを取り、立て直しを図る。しかし、正智深谷はシュートが入らない時間が続く。その中で、埼玉栄はタイミング良くインサイドから逆サイドパスで＃１４のスリーポイントが決まる。正智深谷は残１分＃８のリバウンドシュートで２得点を決めたのみで２ピリオドが終了した。１７対２４と埼玉栄がリードする。

３P　埼玉栄が＃１４と＃１２のハイローで得点する。対する正智深谷は＃４のジャンプシュートや＃８のスリーポイントで粘りを見せる。残５分まで４点差で粘っていた正智深谷だったが、埼玉栄は＃４のスリーポイントや＃１７のジャンプシュートなどで４３対３１とリードする。残４４秒、正智深谷タイムアウト。その後、埼玉栄はゾーンディフェンスに切り替える。正智深谷はそのディフェンスを攻略しようとパスをまわしたが、埼玉栄＃１７がスチール、＃１２がシュートを決め、３ピリオド終了。３１対４５と埼玉栄がリードする。

４P　埼玉栄はゾーンディフェンスを続ける。正智深谷は＃６のスリーポイントシュートで追い上げを図る。しかし、埼玉栄も＃４のジャンプシュートや＃１３のカットインで攻撃の手を緩めない。正智深谷も＃７の連続スリーポイントシュートで７点差までは迫るがなかなか追いつけない。埼玉栄はゾーンディフェンスでスリーポイントを徹底的にマークする。４ピリオド途中埼玉栄＃１４の選手が負傷するものの再び出場して体を張ったプレーを見せる。結局４８対５８で埼玉栄が勝利をおさめた。両チームともにインターハイへの気持ちが強く感じられるプレーが一つ一つに見られた試合であった。